

「導水路事業休止を」

市民グループ 岐阜県に要請

名古屋市の河村たか・粕谷志郎岐阜大教授は十八日、同県の連絡導水路事業からの撤退方針表明を受け、事業に反対する岐阜県市民グループ「長良川市民学習会」(代表

水路から長良川への放たされておらず、見直しの世論も急速に高まっていく」と訴えた。古田知事は河村市長の撤退方針について「三県一市で議論を積み上げてきた」と不快感を示している。

古田知事は河村市長の撤退方針について「三県一市で議論を積み上げてきた」と不快感を示している。

09.05.19 朝日新聞

■導水路休止求め要請書

徳山ダムの導水路建設に反対する市民団体「長良川に徳山ダムの水はいらない」市民学習会実行委員会(代表・粕谷志郎岐阜大教授)は18日、今年度着工が予定されている「木曾川水系連絡導水路事業」の当面の休止を求める緊急要請書を古田肇知事あてに提出した。武藤仁事務局長は、名古屋市の河村たかし市長が15日に事業費の予算を一時凍結したことを支持した上で、「県は市民の意見に耳を傾けてほしい」と話した。

09.05.19

中日新聞

岐阜県は「東濃地方や長良川の渇水対策に役立つ」として、治水目的で導水路事業に参加。総事業費八百九十億円のうち三十億円を負担する。

09.05.15 岐阜新聞

徳山ダム導水路 休止申し入れ 県に市民団体 要請書を提出

徳山ダムの水を木曾川と長良川に流す導水路事業について、名古屋市の河村たかし市長が撤退を検討する方針を示したことを受け、導水路に反対する市民団体「長良川市民学習会」(代表・粕谷志郎岐阜大教授)は十

八日、古田肇知事に対し、事業の休止と再検討を国に求めることなどを要請した。

水資源機構や関係自治体が「長良川への放流は渇水時だけ」とする新たな案を提示したことも踏まえた「緊急要請」。粕谷代表らが県庁を訪れ、堂蘭俊多河川課長に要請書を提出した。

事業の当面の休止を国に申し入れることや長良川への導水の拒否をあらためて求めているほか、今月十五日に同会が長良川の魚類や木曾川の子マツシジミの生息をめぐって国土交通省に提出した公開質問の回答を県民に広報することを求めた。